

## TR3-CF002 動作確認済みPDA機種一覧

OS	PDA機種名		動作	注意事項	
	メーカー	型番			
Windows Embedded CE 6.0	富士通	MultiPadV2	○	※5参照	
	東研	TBR-6020	○	※5参照	
Windows Mobile 6.0	HP	iPAQ 212	△	※1参照 ※2参照	
Windows Mobile 5.0	HP	iPAQ hx2190b	△	※3参照	
		iPAQ hx2490b	△		
		iPAQ hx2790b	△		
	DELL	x51V	○	OSバージョン A04	
Windows CE 5.0	シャープ	RZ-1501	○		
		RZ-1502	○		
	富士通	MultiPad FHT421SC	○		
	東研	TBR-6010DB	○		
	キヤノン	GT-1	△		※4参照
	CASIO	CASSIOPEIA DT-5200 M50	○		
		CASSIOPEIA DT-5200 M50C	○		
ビルコン	Tough'it	○			
Windows CE .NET 4.2	キヤノン	BT-1	○		
		KT-1	○		
	サイオン・テクノロジー	WORKABOUT PRO S	○		
	アルフ	ARK-900	○		

○: 当社デモソフト、およびSDKサンプルソフトで正常動作を確認

△: 当社デモソフト、またはSDKサンプルソフトで一部不具合動作を確認

※1	iPAQ212上で動作するTR3-CF002用アプリケーションを開発する場合、当社製SDK「TR3-SDK-PDA」をご利用ください。詳細は、下記URLの資料をご参照ください。 <a href="http://www.takaya.co.jp/products/rfid/pdf/TR3-CF002_iPAQ212.pdf">http://www.takaya.co.jp/products/rfid/pdf/TR3-CF002_iPAQ212.pdf</a>
※2	TR3-CF002を接続した状態でPDAをリセットすると、TR3-CF002が正常に動作しない場合があります。PDAのリセットは、TR3-CF002を取り外した状態で行ってください。また、正常に動作しなくなった場合には、TR3-CF002を一度PDAから取り外し、再度装着してください。
※3	PDAをサスペンドさせる運用において、TR3-CF002が正常に動作しない場合があります。同一型式のPDA同士(製品固有のシリアル番号のみ異なる)においても、TR3-CF002を接続した際の動作が異なる場合があることを確認しています。
※4	Microsoft eMbedded Visual C++4.0にてSDIアプリケーション開発を選択し、ウインドウメニュー項目(メニューバー)からTR3-CF002へのコマンド送信を実行するアプリケーションを開発した場合、当該アプリケーションが正常に動作しない場合があります。なお、フォーム上に配置したボタンコントロールから同一処理を実行するアプリケーション、及びVisual Studio.NET2003、または.NET2005にて開発したアプリケーションでは、異常動作は確認されていません。
※5	Windows Embedded CE 6.0では、既存ソフト「TR3Check2003」は正常動作しません。ユーティリティツール「TR3CFManager」をご使用ください。

◆掲載されていない機種の動作については、別途お問合せください。

◆掲載中の機種は、当社にて動作確認を行ったものですが、動作を保証するものではありません。

◆当社でPDAのすべての機能・使用法に対して検証することは困難です。

また、同一型式のPDA同士(製品固有のシリアル番号のみ異なる)においても、TR3-CF002を接続した際の動作が異なる場合があることを確認しています。ご利用に際しては、お客様にて再度の検証をお願いいたします。

◆Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。